

平成28年度施策評価調書

整理番号	33
評価担当課	生涯学習課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	青少年健全育成事業(5-9-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	9	青少年の健全育成

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	家庭・学校・地域・行政が一体となった青少年健全育成体制を整備し、青少年が健全に育つ環境づくりを進めるとともに、体験交流活動や社会活動への青少年の参加促進、団体や指導者の育成を図る。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	青少年センターにおいて関係機関・団体との連携による街頭巡視、指導活動の強化や、有害環境の浄化と啓発活動の推進を行っている。 名寄・風連生涯学習課において子ども体験交流事業を行っている。
施策の課題	近年の少子化においては、地域との関わりや集団に対する帰属意識の低下がみられ、少年の基礎的な生活体験の不足が顕著になっているため、さらなる団体活動や自然体験学習の推進が必要となっている。また、青少年の問題行動の未然防止や、子どもの安全安心を守るため、家庭や関係機関等のさらなる連携が必要となっている。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(28年度)
各町内会から選出された青少年センター指導員	名寄市内すべての町内会からの選出を目標とする	目標値	82	81	81	81
		実績値	68	64	64	
		進捗率	83%	79%	79%	
青少年関係団体補助金交付件数	子ども会育成連合会等、青少年健全育成団体の活動支援	目標値	3	3	3	3
		実績値	3	3	3	
		進捗率	100%	100%	100%	
体験事業実施件数	夏休み子ども写生会など、学校外体験活動の機会件数	目標値	5	5	5	5
		実績値	5	5	5	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	青少年の健全育成を図るため、学校・地域・関係機関・団体等が連携協力し、啓発活動を強化しながら地域一体となった見守りや非行防止活動が行われている。また、少子化等地域で体験活動を設けることが難しい中、学校外での体験交流の場として適切に機能している。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

学校・地域・関係機関・団体等が一体となった青少年健全育成体制を築き、青少年の問題行動の未然防止や、児童生徒の安全安心を守っていく。学校外での体験交流についても地域や関係機関・団体、大学生等の協力をいただきながら継続実施していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	成人式運営事業	新成人で成人式実行委員会を組織し、式の企画運営を自主的に行なう	625	a	b	b	a	a	A	A	A
2	青少年健全育成事業(学校外体験)	休み期間の学校外での体験事業を行う	255	a	a	b	a	a	A	A	A
3	青少年健全育成事業(自然体験)	へっちやLANDの実施や、子ども会・ボーイスカウト活動支援	1,105	a	b	b	a	a	A	A	A
4	青少年問題等対策事業	青少年の問題行動の未然防止や、子どもの安全安心を守る	1,680	a	a	a	a	a	A	A	A
5	青少年健全育成事業(都会っ子交流事業)	杉並区と本市の小学4～6年千の体験交流事業	2,145	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	33	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	生涯学習課生涯学習係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	成人式運営事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	9	青少年の健全育成
		基本事業	1	青少年の健全育成事業
		実施計画事業	1	学校教育との融合

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	晴れて新成人となり21世紀の社会を担う若者が同世代同士及び市内有識者を囲み祝福を受け、社会の一員として自覚と責任を持って行動するよう自らの手により「成人式」を企画実施し、青年の健全育成に寄与する。			
対象(何を又は誰を)	新成人			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	市内在住の新成人で成人式実行委員会を組織し、当日の運営やアトラクションの考案を自主的に行なう。			
意図(どのような成果を期待しているか)	社会の一員としての自覚や責任を持った成人を育成する。			
事業実施主体	名寄市教育委員会、名寄市成人式実行委員会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

活動指標	1	対象者数	単位	目標	H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
					実績				
活動指標	1	出席者数	名	目標	325	347	378	350	350
		出席者数		実績	187	191	206	200	
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
			実績						
成果指標	1		目標						
			実績						
	2		目標						
			実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	543	576	625	637	印刷製本費 78千円 成人式実行委員会負担金 547千円
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	543	576	625	637	
人件費	668	663	649	624	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	1,211	1,239	1,274	1,261	
対前年比(%)	—	102	103	99	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	6	6	6	総事業費 出席者数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	21世紀の社会を担う新成人が社会の一員としての自覚と責任を持つために市全体として事業は必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	目的達成のために有効であるが、新成人のニーズに合わせたアトラクションや交流会の内容検討が適宜必要である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	成果は発揮されているが、成人式でのアトラクションや交流会の内容について経費の有効的な活用が必要である。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	受益者負担はなく、成人式については市内外問わず、幅広く周知を行なっているため、受益者の偏りもない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	対象者数の半数以上の出席があることから、達成度は高い。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	事業の目標及び指標に沿って実施できている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	33	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	生涯学習課生涯学習係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	青少年健全育成事業(学校外体験)			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	9	青少年の健全育成
		基本事業	1	青少年健全育成事業
		実施計画事業	1	学校教育との融合

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	未来をつくる青少年が心の豊かさや生きる力、創造性や社会性などを養い、時代の変化に的確に対応できる人間として育つよう、より良い環境を整える。			
対象(何を又は誰を)	青少年			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	教育委員会と子ども会育成連合会との共催によるスポーツ・文化・レクリエーション事業などを実施し、学校外活動を推進します。また、単位子ども会の活動が困難になっている地域の子どもの参加交流できる施設や自然を生かした体験学習を推進します。			
意図(どのような成果を期待しているか)	青少年が心の豊かさや生きる力を育て、地域の中心となる青少年を育成する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 体験事業実施件数	件	目標	5	5	5	5	20
			実績	5	5	5	5	
	2	目標						
		実績						
成果指標	1 体験事業実施件数	件	目標	5	5	5	5	20
			実績	5	5	5	5	
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	245	235	255	343	夏休み子ども写生会 40千円 冬休み子ども料理教室 27,5千円 新春子ども書き初め広場 40,5千円 冬休み児童生徒作品展 147千円 春休み子ども英語クラブ 0円	
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	245	235	255	343		
人件費	668	663	649	624		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10		
総事業費	913	898	904	967		
対前年比(%)	—	98	101	107	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	184	177	173	193	総事業費/実施件数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	少子化等により地域での子どもの体験活動が困難となっており、市全体として重要な事業である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	目的達成のために有効であり継続して行っていく必要がある。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	低コストで事業を実施できているが、さらなるコスト削減に努める。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	各事業に係る実費費用を徴収しており、それぞれの負担に差はなく適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	活動指標、成果指標とも達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	事業の目標及び指標に沿って実施できている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	33	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	生涯学習課生涯学習係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	青少年健全育成事業(自然体験)			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	9	青少年の健全育成
		基本事業	1	青少年健全育成事業
		実施計画事業	2	育成組織の活性化とPTAとの連携

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	未来をつくる青少年が心の豊かさや生きる力、創造性や社会性などを養い、時代の変化に的確に対応できる人間として育つよう、より良い環境を整える。			
対象(何を又は誰を)	青少年			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	教育委員会と子ども会育成連合会との共催によるスポーツ・文化・レクリエーション事業などを実施し、学校外活動を推進します。また、単位子ども会の活動が困難になっている地域の子どもが参加交流できる施設や自然を生かした体験学習の推進			
意図(どのような成果を期待しているか)	青少年が心の豊かさや生きる力を育て、地域の中心となる青少年を育成する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	18年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 青少年関係団体補助金交付件数	件	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3	3	
	2	目標						
		実績						
成果指標	1 青少年関係団体補助金交付件数	件	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3	3	
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	1,022	1,230	1,105	1,230	野外体験学習事業「へっちゃんLAND2015」補助金 275千円 名寄市子ども会育成連合会補助金 800千円	
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	1,022	1,230	1,105	1,230	ボーイスカウト補助金 30千円	
人件費	668	663	649	624		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10		
総事業費	1,690	1,893	1,754	1,854		
対前年比(%)	—	112	93	106	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	563	631	584	618	総事業費/実施件数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	少子化により子どもの数は減少しているが、少年期に野外体験、団体行動を学ぶ場として重要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	目的達成のために有効であるが、適宜内容の見直しが必要である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	各団体について、様々な事業を実施しており、成果は見られるが、コストの見直しは必要。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	各事業に係る実費費用を徴収しており、それぞれの負担に差はなく適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	活動指標、成果指標とも達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	事業の目標及び指標に沿って実施できている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	33	枝番	4
評価担当課・係・職名・氏名	名寄市青少年センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	青少年問題等対策事業			
総合計画の位置づけ	⑦ 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	9	青少年の健全育成
		基本事業	1	青少年健全育成事業
		実施計画事業	3	子どもの安全と安心を守る家庭と地域社会による活動の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	青少年の問題行動の未然防止や、子どもの安全安心を守る			
対象(何を又は誰を)	市内の児童・生徒			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	関係機関・団体との連携による街頭巡視、指導活動の強化 有害環境の浄化と啓発活動の推進			
意図(どのような成果を期待しているか)	青少年を取り巻く社会環境が急速に変化し多様化していることから、子どもの安全安心を守るため、学校、家庭、地域、行政、関係機関・団体等が情報を共有し、より一層連携し、一体となった取組を推進していく。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	⑧(直営) 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) ・⑨(無)
根拠法令・条例等	名寄市青少年センター設置規則			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (28年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1			目標				
				実績				
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
成果指標	1	各町内会から選出された青少年センター指導員	人	目標	82	81	81	81
				実績	68	64	64	65
	2			目標				
				実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	1,660	1,644	1,680	1,897	・専門指導員・協議会委員等報酬 ・街頭指導員報償・講師謝礼等 ・名寄市児童生徒補導協議会補助金 ・青少年に関する会議等旅費 ・パトロール車燃料費等
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,660	1,644	1,680	1,897	
人件費	2,005	1,989	1,947	1,873	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.30	0.30	0.30	0.30	
総事業費	3,665	3,633	3,627	3,770	
対前年比(%)	—	99	100	104	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 (青少年センター指導員が選出されていない町内会に対し、安心会議等で広く周知していく)

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は青少年の健全な育成を図るため、青少年センターが中心となり、関係機関や安心会議等の諸団体と連絡協調を図り、有効適切な指導活動を行っている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	登下校時等における不審者情報が増加している中、児童生徒の安全確保が大きな課題となっており、犯罪から児童生徒を守るためには、地域全体で見守る体制を整備することが重要である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	青少年センター指導員による非行防止に向けた市内巡視活動の実施や、青少年問題協議会等による会議や研修会は、青少年の健全育成に必要な事業であり、削減の余地はない。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りはないか？	a	市内全域においての事業であるため、偏りはない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	学校・地域・関係機関・団体等が一体となった青少年健全育成体制を築き、青少年の問題行動の未然防止や、児童生徒の安全安心を守っている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	青少年の健全育成を図るため、学校・地域・関係機関・団体等が連携協力し、啓発活動を強化しながら地域一体となった見守りや非行防止活動が必要のため、継続とする。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	33	枝番	5
評価担当課・係・職名・氏名	教育部 風連生涯学習担当		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	青少年健全育成事業(都会っ子交流事業)			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり(教育・文化・スポーツ)
		主要施策	9	青少年の健全育成
		基本事業	1	青少年健全育成事業
		実施計画事業	6	指導者育成及び各団体への支援

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	未来を作る青少年が心の豊かさや創造性、社会性等を養い、時代の変化に的確に対応できる人として育つよう					
対象(何を又は誰を)	名寄市内小学校 4~6年生					
手段=活動(仕事) (どのような方法で)	友好交流都市の杉並区と名寄市の小学4年生から6年生を対象とした相互交流を実施し、お互いの生活習慣や環境の違いなどをじかに感じ、自分が生活する環境の良さも発見する事業。					
意図(どのような成果を期待しているか)	未来を担う子どもたちがふるさとの良さを再発見し、友好都市杉並区に友達を拡散させ、息の長い交流となるよう					
事業実施主体	名寄市					
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負	その他()
事業実施期間	始期	S47年度	終期設定	有(終期	年度)	無
根拠法令・条例等						

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 参加者	人	目標	25	25	25	25	
			実績	25	25	25		
	2 応募者数	人	目標	35	35	35	40	
			実績	49	46	57		
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	2,276	2,376	2,145	2,362	旅費 197千円 負担金補助及び交付金 1948千円
国道支出金					
地方債	1,800	1,800	2,000	2,000	
その他					
一般財源	476	576	145	362	
人件費	2,005	1,989	1,947	1,873	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.30	0.30	0.30	0.30	
総事業費	4,281	4,365	4,092	4,235	
対前年比(%)	-	102	94	103	コストの算出方法
事業コスト	145	149	138	143	総事業費/参加者数-参加負担金
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	航空運賃の値上がり
改善点	指摘事項 () 複数の旅行会社による航空料金の見積り合わせと早割チケットの獲得

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	未来をつくる青少年の育成
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	友好都市杉並区との交流事業として有効
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	参加した子どもたちがボランティアリーダーとして参加してくれるなど事業の有効性がうかがえる
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	a	小学生 26,000円の負担金は適正と考える。選考の段階で過去に参加しているものは不採用としている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	アンケートからも参加者・保護者ともに成果がうかがえる結果となっている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	未来を担う子どもたちが違う環境で育った同年代と団体生活を送ることで得られる友情と環境の違う地域を感じることで自分のまちを再認識することができる。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	選考方法について、不満の声がよく聞こえてくる。杉並区のように作文を書いてもらうなど公平な選考をお願いしたい。

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり